



★ 今年度の外来診療日について ★

次の日程を通常診療日とします。

- ・10/22(火)【天皇即位礼正殿の儀】
- ・1/4(土) (ただし年末の12/28(土)は休診)

(1) 医師から皆様へ〈口腔がんのお話〉

現在、日本では年間に約1万人弱が口腔がん罹患しています。部位別では舌がんが6割で、歯肉がんが2割を占めます。70歳前後で最も多く発症し、男女比は3:2です。口腔は消化器系の入口として喫煙や飲酒、食物などによる化学的刺激に晒され、またむし歯や尖った入れ歯による機械的刺激があり、発がんに関わる特殊な環境と危険因子が複数存在します。したがって口腔がん細胞は遺伝子に多数の傷がついているため進行が速いのが特徴です。早期発見と治療が運命の鍵を握ります。

口腔がんは直接見て触れることができるため、その検診は容易に行えます。しかし口内炎と口腔がんの区別は専門家でも難しいケースがあります。

一般に口腔がんは①白色と紅色の部分がかたまりに混在、

②触ると硬い、③2週間経っても治らない、という

3つのポイントのうち2つ以上を有することが多く、逆に

病変の形や大きさ、痛みの有無はあてになりません。また

細胞診という簡易な検査は正診率が低く、結局はメスで病変の一部を切開し取り出して調べる生検が必要になります。細胞の悪性度もわかるため治療方針決定の重要な情報になります。ただし生検の刺激で病変が急に増大し始めることも少なくないため、迅速に治療対応ができる施設(総合病院の口腔外科もしくは耳鼻咽喉科)で検査を実施することが肝要です。特に舌がんは早期から首のリンパ節に転移するため、診断後は早く治療を開始することが大切です。

口腔は摂食だけでなく発音、外見など機能的・社会的に重要なパーツなので、口腔がんの治療目的はがんが治ることと同程度に機能温存を重視しています。



治療技術は年々進歩しており、現在でも標準治療(専門家の中で最善であると合意が得られている治療)は手術ですが、機能温存のための再建手術、あるいは化学療法を先行させた縮小手術、さらに進んで手術を回避する動注化学(放射線)療法も可能になっています。治療成績は病院ホームページで公開しています。また随時口腔がん検診を行っていますので本館2階の口腔外科受付でお申し込み下さい。

歯科口腔外科 部長 末松基生

(2) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題 : 冬の感染症対策
~手洗い、マスク装着を正しく行いましょう~
- ・講 師 : 感染管理専従看護師長 西 真由美
- ・日 時 : 10月29日(火) 14:00~15:30
- ・場 所 : 鳴尾公民館(Tel.47-3838) ※無料(参加自由)



(3) <急募>ナース・ナースアシスタント(看護助手)募集のお知らせ

一緒に明和病院で働きませんか?

詳細はホームページをご覧ください、人事企画課
(代表 0798-47-1767)までお電話にてお問合せください。



(4) (株) テスティパルより、厨房職員・パート募集のお知らせ

私たちは明和病院で患者さんと職員の方に
お食事を提供しております(株) テスティパル
です。明和病院で私達と一緒においしい
お食事を作る厨房スタッフを募集しています。

また、ご家族・お知り合いの方がおられましたら
ご紹介下さい。勤務時間・待遇などは(株) テスティパル
総務部(0120-115-277)までお気軽にお問い合わせください。



◆職員：調理師、(管理)栄養士 ◆パート：調理補助(未経験の方も歓迎)